

「みやぎBA. 5対策強化宣言」が終了しましたが宣言終了後も感染対策は継続を

8月5日から宮城県で出されていた「みやぎBA. 5対策強化宣言」が9月30日を以て終了しました。一方で、県内では現在も相当数の新規感染者が確認されており、感染対策が欠かせない状況にあります。本校では引き続き感染対策を十分に講じた上で教育活動をおこなって参ります。

期末考査も終わり、2学期が始まりました。考査期間中は生活リズムが乱れていた生徒も多かったと思います。暑い日が続いていましたが、ようやく涼しくなり秋の気配を感じるようになりました。換気の悪い密閉空間では、感染症のクラスター発生リスクが高くなると言われています。二酸化炭素濃度測定器 CO2 モニターも各クラスに設置しています。CO2 モニターを活用し、適時換気を行いながら学習に取り組んでほしいと思います。

保護者のみなさまへお願い



ご家庭と連携した取組を!~ご家庭と学校が連携し生徒の健康管理~

- ①ご家庭では、毎朝健康観察をするとともに検温結果を学校で配布している“健康観察カード”に記入し、毎日担任へ提出させて下さい。学校ではそれをもとにお子さんの健康状態を把握します。
- ②学校では、お子さんが発熱、体調不良等の症状が見られた場合、担任から保護者に連絡し、病院受診や自宅療養のため下校させます。(保護者に連絡が取れない場合、職場に連絡させていただくことがありますのでご了承ください)
- ③体調が悪くても、「出席をとる」ために登校し、授業を受けずに早退する生徒もいます。コロナ禍ですので、朝から体調不良の場合は登校せず自宅で静養するようにして下さい。(※発熱で欠席した場合は、病院受診し受診結果を担任までご報告下さい。) ご家庭で、発熱や体調不良等の症状がある場合は決して無理をさせない(登校させない)ようご協力をお願いします。



【出席停止の取扱について】

以下の場合、欠席の扱いとはなりません。無理をして登校することのないようご確認下さい。
※以下の症状で出席停止となり登校する場合『治癒証明書』を速やかに提出していただきます。治癒証明書の診断名は以下のようにご記入下さい。裏面に領収書等の添付は不要です。



出 席 停 止	診断名の記入例
①生徒の新型コロナウイルス感染症への感染が判明した場合	新型コロナウイルス感染症
②生徒が濃厚接触者、検査対象者に特定された場合	感染症予防のため
③生徒に発熱等の風邪症状(のどの痛み含む)が見られる場合	発熱のため、風邪症状のため
④同居の家族に発熱等風邪症状が見られる場合、同居家族が検査対象者になった場合	感染症予防のため
⑤生徒が医療機関等において新型コロナウイルスワクチン予防接種を受ける場合	ワクチン接種のため
⑥生徒が医療機関等において新型コロナウイルスワクチン予防接種を受け、副反応がでた場合	ワクチン副反応のため

~不安なことや心配なことはありませんか?まずは誰かに相談してみましょう!~

体調不良は「体の不調」だけではなく、ストレスや不安を感じている「心の不調」の場合もあります。家族、友達、先生、保健室、スクールカウンセラー... 話しやすい人に相談してみましょう。

■10月11月・12月カウンセラー来校日■

10月21日(金)・27日(木)

11月4日(金)・18日(金)・25日(金)

12月9日(金)・21日(水)

カウンセリング希望は、担任・保健室または教育相談部の佐藤圭一先生、小山先生、鷺先生、若松先生まで



各種相談窓口のご案内(宮城県公式ウェブサイトより)

- こころの相談窓口(土日祝は休日)
《仙台市以外に在住→精神保健福祉センター》
0229-23-0302(9:00~12:00 13:00~17:00)
0229-23-3703(17:00~2:00)
- 《仙台市在住→精神保健福祉総合センター》
022-265-2229(10:00~12:00 13:00~16:00)
022-217-2279(18:00~22:00)
- 24時間子どもSOSダイヤル(生徒・保護者対象)
0120-0-78310(24時間対応)

♡性教育講話が行われました♡

10月5日(水)東北福祉大学健康科学部(看護学)教授 塩野悦子先生による2学年対象の性教育講話が行われました。演題は「高校生から考えよう! 親になる準備」家庭科や保健の授業での復習もありましたが、命の大切さ、自分を産んでくれた両親への感謝も含め、親になることを身近に感じることでできる内容で2年生は真剣に先生の講話を聞いていました。代表生徒は妊婦体験や妊婦を支える父親体験、赤ちゃんのだっこ体験もさせていただきました。講話後、感想文とアンケートを記入してもらいました。

アンケートの感想の一部と妊婦体験や赤ちゃんのだっこ体験の様子をほんの一部ですが紹介します。素晴らしい感想もたくさんありましたので感想文の一部とアンケート結果は後日、塩野先生に郵送します。

- 親になるということは、いろんな責任と不安から情緒が不安定になりやすくなるので、パートナーとの支えが必要なんだと改めて思った。
- 付き合ったりする場合は相手の意思も尊重することが大切なんだということがわかった。
- 女性の体は大変だということがわかり、これから女性の関わり方に気をつけようと思った。妊娠するということは男女に関わらず大変なことなんだと思った。
- 何よりも、知識をつけることが一番大切だと思った。正しい知識を身につけ、日頃からできることに高校生のうちから取り組んでいきたい。また、断る勇気や人に頼る勇気も持ち生活していきたい。
- パートナーとの関係で大変なこと「尊重・安心・対等」を忘れず自分のことよりも相手の考えを大切にしたい。
- 親になるためには、命や心を守るという気持ちが大切だということがわかった。
- 親になるためには、お金がかかるし、他にも命を大事にする気持ちなど軽い気持ちで親になるのは難しいんだと思った。
- 保健の授業である程度学んでいたと思っていましたが、改めて男女の付き合い方や性教育について学びました。自分と相手を大切にしながら、異性と付き合っていくような気をつけていきたいです。今から鉄分とカルシウムを取り、大人の自分に向けて準備をしていけたらいいなと思いました。
- もっと自分の命を大切にしようと思った。
- 赤ちゃんが欲しくてもできない人達が世の中には沢山いると思ったので、今、自分が生きていること、生活に不満なく過ごしていることなどに感謝の気持ちを持ちたいと思った。
- 女性の気持ちを理解して育児なども手伝えることがかなりあると思った。家事以外にも色んなことをやれるようになりたい。
- 10代のうちに家事全般できるようになり、女性の大変さを理解して将来パートナーが妊娠した時に少しでもパートナーの負担を減らしてあげられるようにしたい。
- 自分も親になる日が来るのかなと感慨深い気持ちになった。また女性の気持ちを配慮することも必要だと思った。
- たくさんの難関をのりこえてきた私たちの命は、尊く大切なものだと思います。
- 親になるということは、それなりの覚悟やいろいろな準備をしなくてはならないと聞き、自分がどのくらい大変だったかと考えさせられました。
- 国の子育て支援は足りない部分もあると思ったので今後の国の課題だと思います。
- 自分のことを産み育ててくれた親の大変さや、親になったときのことを考え学ぶことができました。
- いつまでも子どもの考えではいけないということ。自分もいつかは親という立場になるので自覚を持って行動していきたい。



塩野先生に講話の感想と感謝を



妊婦体験の感想



階段の上り下りを体験



赤ちゃんのだっこ体験

